



島根県教育庁文化財課世界遺産室

【TEL】 0854-89-0183（石見銀山世界遺産センター）

【メール】 sekaiisan@pref.shimane.lg.jp

企画展「鉾山の守り神—^{さひめやま}佐毘売山神社の大遷宮—」を開催します！

石見銀山世界遺産センターにおいて、下記のとおり企画展を開催しますので、ご案内します。

記

1 展示の概要

県と大田市は、佐毘売山神社の令和6年度の遷宮にあわせて共同で調査を実施しました。この調査では、古文書等の新たな歴史資料が発見されており、佐毘売山神社と石見銀山遺跡の歴史の解明につながると期待されています。

今回、こうした資料を展示し、石見銀山の守り神として親しまれてきた佐毘売山神社の歴史を紹介します。

- 2 名 称** 鉾山の守り神ー佐毘売山神社の大遷宮ー
- 3 会 期** 令和5年6月28日(水)～8月28日(月)
※ 会期中の休館日：7月25日(火)
- 4 場 所** 石見銀山世界遺産センター 第3展示室(大田市大森町イ 1597-3)
- 5 観覧時間** 午前9時～午後5時30分(最終受付は午後5時)
※ 石見銀山世界遺産センター営業時間：午前8時30分～午後6時
- 6 主な展示資料**
- ・神社の拝殿に葺かれていた鬼瓦
 - ・境内を描いた銅版画(明治時代)
 - ・境内の発掘調査で出土した陶磁器(16世紀末～17世紀初め)
 - ・戦国大名毛利氏の家臣が神社に宛てた書状(16世紀末)
- ※ 詳しくは別紙を参照してください。
- 7 観覧料** 一般310円、小中学生150円(常設展示もご覧になれます)

8 主催等

【主催】大田市教育委員会・島根県教育委員会

【協力】 佐毘売山神社 【後援】 石見交通株式会社

9 関連企画

- ・佐毘売山神社所蔵の銀鉱石（推定約 260 キログラム）も同時展示
 - ・来場者のうち先着 500 名の方にオリジナルポストカードを進呈
 - ・7 月 1 日（土）及び 7 月 2 日（日）には専門職員による展示解説あり
- ※ 7 月 2 日は世界遺産登録記念日

企画展「鉾山の守り神－佐毘売山神社の大遷宮－」の主な展示資料

①神社の屋根に葺かれていた鬼瓦



佐毘売山神社の拝殿に葺かれていた鬼瓦。佐毘売山神社の愛称である山神さんを意味する「山」の字が表現されています。

②境内を描いた銅版画



西日本を中心に銅版画を作成していた大阪大成館銅版部の作品。幕末から明治期にかけて日本各地で風景や寺社仏閣の銅版画を作成することが流行しており、そうした時代背景の下でこの作品も作られたと考えられます。

★来場者のうち先着 500 名の方にこの銅版画を印刷したオリジナルポストカードを進呈します。

資料の所有者

①②⑤佐毘売山神社

(②⑤はいも代官ミュージアム(石見銀山資料館)寄託)

③④大田市教育委員会

③出土遺物 1 (織部向付・美濃焼)《初公開》



④出土遺物 2 (瓶の口縁部・唐津焼)《初公開》



見学道整備のための石垣解体工事に伴う発掘調査で出土した 16 世紀末から 17 世紀初頭の陶磁器の一部。特に③は茶器として使用されたと推定され、茶の湯の文化が最盛期の石見銀山に広がっていたことがわかります。

⑤戦国大名毛利氏の家臣が神社に宛てた書状



新年のお祝いとして佐毘売山神社から銀を贈られた毛利輝元もうりてるもとの家臣が、神社に宛てて出したお礼状。毛利氏と佐毘売山神社の親しい関係がうかがえます。

(注)7月26日からは別の古文書と入れ換えます。